

Sources（ジャーナリストや記者専用のポータルサイト）

Sources はジャーナリストやフリーランス・ライター、編集者、作家、研究者たち専用の情報ポータルサイトです。また、記者からの質問に答える準備をしたり、インタビューのために時間を割く専門家やスポークス・パーソンなどの人的資源を重視しています。

Sources (www.sources.com) は、20,000 個以上のテーマを含むキーワード・項目別の索引を中心に構成されています。この索引は、記者たちが検索した用語と関連のある言葉を追加的に表示して、検索を絞り込む「インテリジェント・サーチ・システム」をベースにしています。例えば、「癌」を検索すれば「化学療法」や「メラノーマ」、「腫瘍学」、「放射線療法」、「喫煙が引き起こす病気」、「腫瘍」などの用語に加えて、実際に「癌」という言葉を含む記事も表示します。

各テーマの参照から分野別の専門家やスポークス・パーソンにリンクされています。リンク先で彼らの専門知識や電話番号、その他の連絡先が表示されており、関連する場合には論点へのアプローチ方法も記載されています。Sources には、大学や研究機関、非営利団体、非政府組織、政府、公共機関、企業に加えて学者や講演者、コンサルタントなどの個人に関する一覧表も含まれています。

また、Sources をより国際的な情報源とするためにキーワード・項目別の索引とサーチメニューはフランス語、スペイン語、ドイツ語に翻訳されています。

カナダを拠点とする Sources は 1977 年に設立され、記者や編集者、ジャーナリスト専用の一覧表（印刷版）でした。まず、影響力があり物議を醸したジャーナリズム批判雑誌であるコンテンツ (Content) 誌の付録として出版されました。コンテンツ誌は 1970 年にディック・マクドナルド氏によって設立され、マクドナルド氏が 1974 年に亡くなってからはバリー・ズウィッカー氏が出版を行っていました。コンテンツ誌は、ジャーナリストたちが執筆する際にいつも型にはまった見解を述べる同一の狭い情報源に頼っていることについて何度も批判しています。ズウィッカー氏とマクドナルド氏はコンテンツ誌および共著書「ニュース: カナダにおけるメディアの内情 (The News: Inside the Canadian Media)」[1] の中で重要な問題に関する報道の多くは「ひどく単調」であり、重要かもしれない見解や情報源が排除されていると主張しています。

ズウィッカー氏は、こうした状況に対処しようと決意しました。コンテンツ誌は、Sources と呼ばれる最初の一覧表を 1977 年の夏に発行しました。Sources は「カナダの編集者や記者専用の連絡先一覧表」と考えられており、「広報主任や広報担当者、メディア向け広報関係者、広報業務関係者を記載している。さらに、その他の団体や協会、連盟、労働組合、学会、機関、財団、産業界、企業、連邦・州・地方の省庁や委員会の連絡先も記載している」。

「物事には通常 2 つの側面があると言われるが、それは正しくない。多くの場合たくさんの側面があり、記者たちの仕事は全ての側面を明らかにすることである。Sources がそれを手助けできる」[3]とズウィッカー氏は Sources について説明しています。同氏は初めから Sources を公共サービスまたはジャーナリストたち専用の道具であると考えていました。また、同氏は Sources が「公正な情報システムを促進させるべきである。そして、通信資源は住居や食料、医療等の基本的なニーズと同じように重要である。あらゆる人がこれら全てを適切に利用できなければいけない」[4]とも述べています。したがって、「私たちは本物の多様性を提供することに努めている。つまり、大きな組織や小さな組織、営利目的の組織や非営利組織、ローテク組織やハイテク組織、伝統のある組織や最近設立されたばかりの組織に関わる人たちが適切に利用できるようにすることである」[5]と同氏は述べています。

「Sources のサイト内では従来型の情報と新しいタイプの情報を得ることができる。新しいタイプの情報は極端であり、質も低く、情報の出所も定かでないことが多いと考える人もいるかもしれないが、Sources ではそのように考えていない。私たちはこのタイプの情報は簡単に入手できないことが多いが、本物且つ重要であると考えている。新しいタイプのメディアは、驚きや不協和音、ひらめき、意外な見解、格言、嘆願、前衛的な意見、最新ニュース、予言、生の意見、興奮、通常ならば公表されないであろう情報、印象的な出来事、風変わりな出来事、入念な議論、上流社会では語られることのない話題、奇抜な見解、検閲を受けていない情報などを提供する。Sources では、可能な限りこの新しいタイプの情報を提供する。使いやすいテクノロジーが可能にする情報における完全なる民主主義こそ私たちの推進力である。カナダ人の多くは新しいタイプの情報資源を有効活用したいと考えており、（新しい考え方のように見える）従来の社会通念を唱え合うのではなく、幅広い解決策を求めており、理解を深めたいと考えているのではないかと思われる」[6]とズウィッカー氏は利用者たちに述べている。

数年後、Sources はあまりにも大きくなりすぎたため、コンテンツ誌に収まりきれなくなり（印刷版の一覧表は最終的に 500 ページ以上に膨れ上がりました）、1981 年に独立した出版物となりました。コンテンツ誌は結果的に廃刊となりましたが、ズウィッカー氏はジャーナリストたちが興味を持ちそうな幅広いテーマの記事、例えば文法や文体、事実確認、フォトジャーナリズム、著作権、フリーランサーの報酬、自費出版などの実用的なテーマからジャーナリズムの実態やメディアについての特集記事、書評などに関する重要な論説欄を Sources のサイト上で継続的に作成しました。1990 年代初頭から、Sources はコンピュータサイエンスの専門家ディーン・テュダー氏による「ディーンズ・デジタル・ワールド (Dean's Digital World)」[7] をはじめとするオンライン調査に関する記事の特集を始めました。

Sources は、1995 年にインターネットに移行しました。それ以来ポータルサイトは拡大し続けています。印刷版の一覧表も、フリーランサーたちが記事のアイデアを得るための情報源として活用できるように継続して発行していますが、現在はインターネットを基盤とした情報源です。

Sources のサイト上では Sources の一覧表だけではなく、政府の一覧表「Parliamentary Names & Numbers」やメディアの一覧表「Media Names & Numbers」、メディア向けの広報やその他の広報活動についての特集記事を取り扱う「The Sources HotLink」(www.hotlink.ca)も記載されています。さらに、記者やジャーナリストたち向けの賞や賞品、奨学金などの一覧表「Fame and Fortune」や新しい考え方や社会正義に関する資料を取り扱うアーカイブ「コネクションズ情報共有サービス (Connexions Information Sharing Services)」へのリンクも Sources のサイト上に記載されています。

また、ジャーナリズムやメディアについての記事や論評（30 年分以上）を取り扱う大きなオンライン図書館「Sources Select Resources」[8] も Sources のサイトに含まれています。

通常、論説の内容は執筆・編集・調査の本質について重点的に取り扱っていますが、Sources は検閲やメディアの偏向に関する記事も定期的に発行しており、論争の火種となっています。ズウィッカー氏たちは、報道される側の人から贈り物を受け取るジャーナリストたちの倫理に異議を唱える運動を行いました。この運動の結果、カナダの編集長たちは新聞社が旅行代理店やリゾート地、ホテルなどから無料チケットを受け取らないという合意をしました。

ズウィッカー氏による連載記事「戦争と平和とメディア(War, Peace, and the Media)」[9] (同連載記事は後に小冊子として発行されています) では、米国の外交政策に対するメディアの報道方法を批判しており、この記事に動揺した読者からの反発を引き起こしました。ズウィッカー氏は、その後に発行された記事の中で「高い評価から厳しい非難まで様々な反応があった」と述べています。トロント・サン紙 (Toronto Sun) は、この連載記事に関する記事を三件掲載しました。コラムニストのクレア・ホイ氏は「怒りに震えている」と述べ、編集者のピーター・ワーシントン氏は「憤慨している」と述べ、社説ではズウィッカー氏を強く非難しました。

その他にも、ウェンディ・クチャー氏による銃規制法案の宣伝活動をめぐる争いについての記事もロビー団体からの怒りを買い、論争の火種となりました。[10] ズウィッカー氏の後を継ぎ 1999 年に代表となったウリ・ディマー氏は、「医療に関する十個の嘘: カナダのメディケアに関する討論 (Ten Health Care Myths: Understanding Canada's Medicare Debate)」の中で公共医療反対派の人たちは一般の人々を誤解させたり、怖がらせるために誤った情報を広めていると主張し、フレーザー研究所から非難を浴びました。[11]

メディアにおける幅広い見解を促進させるという義務に従って、Sources は諸団体や各個人の意見を反映させる手助けを行うために少しずつ情報源を追加しています。例えば、メディアに公開されているイベントのカレンダー [12] やインターネット配信及び RSS (リッチ・サイト・サマリー) を通して Sources の会員が意見や主張を発表できるニュースリリース・サービスなどがあります。また、ニュースリリースは項目別に索引が付けられており、Sources のサイト上にある総合情報検索システムに組み込まれています。

参考資料

[1] MacDonald, Dick; Zwicker, Barrie. *The News: Inside the Canadian Media*. Deneau. 1982. ISBN 0888790538

[2] *Sources: A Directory of Contacts for Editors and Reporters in Canada*. Content. 1977. ISSN: 0045-835X

[3] *Sources 50*. 2002. ISSN: 1198-7171X. ISBN: 0-920299-55-5

[4], [5] [6] *Sources 36*. 1995. ISSN: 1198-7871X. ISBN: 0-920299-24-5

- [7] Dean's Digital World - <http://www.sources.com/SSR/DeansDigital.htm>
- [8] Sources Select Resources – <http://www.sources.com/SSR.htm>
- [9] Zwicker, Barrie. *War, Peace and the Media*. Sources. 1983, 1985
- [10] Cukier, Wendy. "Anatomy of the Gun Control Debate". Sources. 1996 - <http://www.sources.com/SSR/Docs/PNN5-1-GunControl.htm>
- [11] Diemer, Ulli. 'Ten Health Care Myths: Understanding Canada's Medicare Debate'. Sources. 1995. - <http://www.diemer.ca/Docs/Diemer-TenHealthCareMyths.htm>
- [12] Sources Calendar - <http://calendar.sources.com>

外部リンク

ソース (Sources) – www.sources.com

Sources Select Resources – www.sources.com/SSR.htm

Sources Select News – www.sources.com/News.htm

Sources Calendar - <http://calendar.sources.com>

Fame & Fortune - www.sources.com/Fandf/Index.htm

The Sources HotLink – www.hotlink.ca

コネクションズ情報共有サービス (Connexions Information Sharing Services) – www.connexions.org